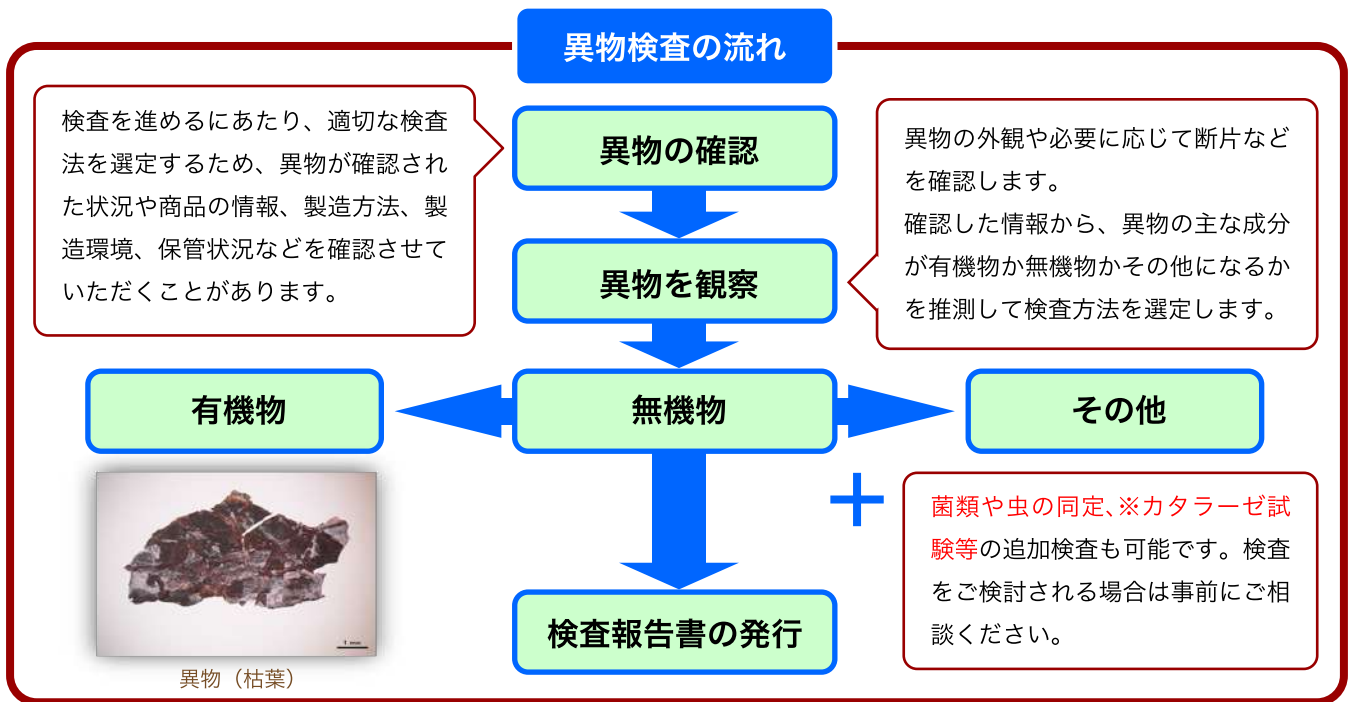


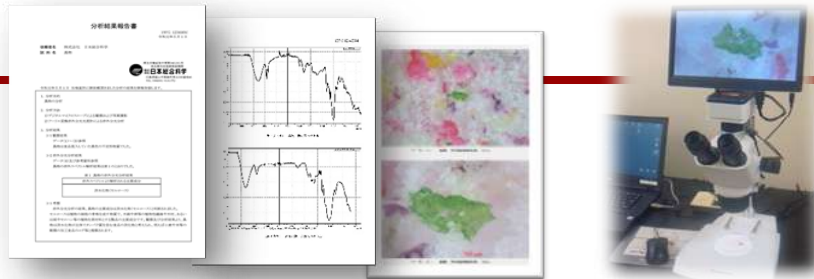
異物検査のご案内

食品や飲料水に対する異物混入クレームはいまだに増加する傾向にあります。消費者の食の安全性に対する意識の高まりも一つの理由です。異物混入の再発を防止するために、異物が何であるかを知ることは非常に重要なことです。科学的な検査により、異物の正体を明らかにすることで混入経路を推測し、適切な対応をすることができます。根拠のある報告と適切な対応は消費者への信頼につながります。



※【カタラーゼ試験】カタラーゼは様々な生物の細胞に存在する酵素で、異物が加熱されているか否かを確認することでどの段階で混入したのかを推定するために行う試験です。(生物以外は対象外です)

検査報告書見本



主な異物と検査方法

	主な異物	一次検査	二次的な検査(ご相談の上実施)
①	金属	蛍光X線分析(EDX)	
②	ガラス・骨や貝殻片	蛍光X線分析(EDX)	
③	植物由来の破片	赤外分光分析(FT-IR)	
④	樹脂(プラスチック類)	赤外分光分析(FT-IR)	
⑤	毛(人毛・獣毛)	赤外分光分析(FT-IR)	
⑥	真菌類(カビ・酵母)	赤外分光分析(FT-IR)	培養同定(種や属の同定)
⑦	虫・生物片	赤外分光分析(FT-IR)	虫の同定(形態が確認できる場合のみ)

エネルギー分散型蛍光 X 線分析 (EDX)

EDXは試料にX線を照射し発生する蛍光X線のエネルギーを分析することで、試料を構成する元素の種類や含有量を調べる装置です。非破壊で固体・粉体などの元素分析ができます。



形態観察の結果、異物が無機物であることが予想される場合は、EDXで分析を行います。

金属片・鉱物・鉄錆・ガラス等の無機物の検査に使用します。

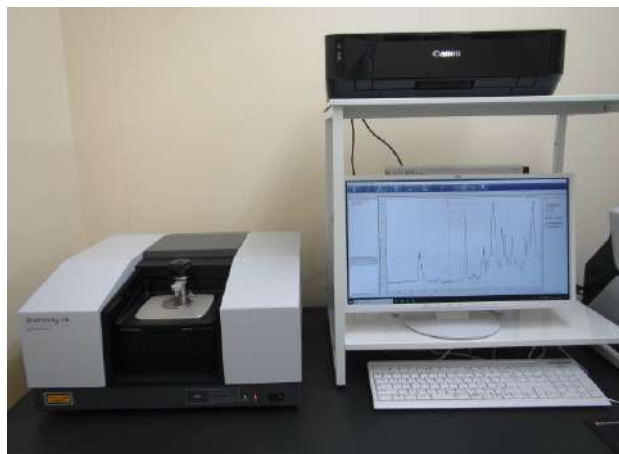


(沈殿異物)

沈殿異物の主要成分は炭酸カルシウム等のカルシウム化合物と判断されました

フーリエ変換赤外分光分析 (FT-IR)

フーリエ変換赤外分光法(FT-IR、Fourier Transform Infrared Spectroscopy)は化合物分子の赤外線吸収スペクトルを利用して化合物を定性・定量する測定法です。



形態観察の結果、異物が有機物であることが予想される場合は、FT-IRで分析を行います。

プラスチック、樹脂、合成繊維など、様々な有機物の検査に使用します。



(スジ状異物)

異物は動物組織や食品類の一部(皮、スジ等)と推測されました

検査のご依頼は

弊社ホームページの【お問い合わせフォーム】又は下記【食品衛生事業部】までお問い合わせください。

食品衛生法登録検査機関(厚生労働省発中厚第0401001号)

株式会社日本総合科学 食品衛生事業部

食品衛生事業部直通 TEL(084)981-0374

FAX(084)957-0693

URL <https://www.ntsc.co.jp/>

□本社	〒721-0957	広島県福山市箕島町南丘399番地46	TEL:(084)981-0181	FAX:(084)981-0171
DNA 多型検査室	〒720-0832	広島県福山市水呑町456-2 FML Group Office 4F	TEL:(084)956-4448	FAX:(084)956-4449
□東京支所	〒101-0042	東京都千代田区神田東松下町28番地 エクセル神田7階A号室	TEL:(03)3526-2253	FAX:(03)3526-2254
□大阪支所	〒532-0002	大阪府大阪市淀川区東三国4丁目11-4新大阪明成ビル3F	TEL:(06)6151-2572	FAX:(06)6151-2573
□岡山支所	〒700-0965	岡山県岡山市北区西長瀬261-105	TEL:(086)245-8213	FAX:(086)246-4091
□広島支所	〒732-0057	広島県広島市東区二葉の里1丁目2-7	TEL:(082)263-6561	FAX:(082)262-1278
□山陰支所	〒683-0845	鳥取県米子市旗ヶ崎1丁目5-12	TEL:(0859)37-2061	FAX:(0859)37-2062
□島根支所	〒699-0111	島根県松江市東出雲町意宇南6丁目4-7 ラメゾン プロスペリテII 101	TEL:(0852)67-1666	FAX:(0852)67-1667



人と環境との調和をめざして
株式会社 **日本総合科学**
ISO 9001 認証登録 ISO14001 認証登録



19SY0005